

# 2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 4 月 24 日

所属	商経学部	職名	教授	氏名	奥寺 葵
研究課題	現代企業経営のワーク・ライフ・インテグレーション				
研究キーワード	ワーク・ライフ・インテグレーション	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連するSDGs項目	8. 働きがいも経済成長も	3. すべての人に健康と福祉を	5. ジェンダー平等を実現しよう	10. 人や国の不平等をなくそう	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>1) ワークライフ・インテグレーションは、すべての働く人々が自らの職業生活を考え、企業が経営面を改善し、グローバルな競争力をもった組織として生き残っていくための重要かつ統合的な戦略である。危機管理時代を乗り越えるために、経営面では、政府の社会政策・労働政策と仕事、家庭、生活、社会の側面をより密接に統合して進んでいかねばならない。またその観点から未来を切り拓く働きやすい職場整備や労働条件面での経営方途がどのようなものであるかを探り、ワークライフ・インテグレーションがいかに展開し寄与するのか提唱した。</p> <p>2) 学長プロジェクト2のメンバーとして、真に社会に必要とされるあるべきUSRについて研究した。特に、2021年度は社会的責任の視点からの新しい大学ランキング指標の開発に取り組んだ。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奥寺葵「第5章 財界のワークライフ・インテグレーション戦略」平澤克彦・中村艶子編著（2021）『ワークライフ・インテグレーション』ミネルヴァ書房</li> <li>・齊藤紀子・橋本隆子・奥寺葵・杉本卓也・安藤崇・小林博子（2021）「SDGsを考慮した新たな大学評価指標と統合報告書」日本地域学会 第58回年次大会 学術発表論文集 <a href="http://jsrsai.jp/Annual_Meeting/PROG_58/proceedings2021.pdf">http://jsrsai.jp/Annual_Meeting/PROG_58/proceedings2021.pdf</a></li> <li>・奥寺葵（2022）『ワークライフ・インテグレーション』と『働き方改革』（2022）『千葉商大論叢』第59巻第3号</li> <li>・齊藤紀子・橋本隆子・奥寺葵・杉本卓也・安藤崇（2022）「大学の社会的責任(University Social Responsibility:USR)活動を評価・改善するための指標づくり－SDGs達成に向けて」、原科幸彦編『SDGsと大学－自然エネルギー100%大学の挑戦』CUCサポート、pp. 108-147</li> </ul> <p>【学会発表等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別セッション「組織のSR評価のための統合報告書」／「SDGsを考慮した新たな大学評価指標と統合報告書」日本地域学会全国大会報告、2021年10月9日、オンライン</li> </ul> <p>3. 主な経費</p> <p>パソコンとプリンターが老朽化したため購入したほか、関連書籍の購入やに使用した。</p>					

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

【活動】

- ・ 労務理論学会 幹事、編集委員
- ・ 東京私大教連 副執行委員長
- ・ 学長プロジェクト2 メンバー